



かけはし



どんな子どもに育てたいですか？

◆ご存じの方もいるかもしれません。子育てのバイブルのような存在として世界中で読まれている詩です。ご一読ください。

すこやか
パワー



子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



◆本校の正面玄関に「元気に登校、笑顔で下校」というスローガンがかかっています。子どもたちが「今日はどんな楽しいことがあるかな」とわくわくしながら元気に登校し、「今日も楽しい一日だったな」と笑顔で下校できるような学校をつくらうという、私たちの思いが込められています。しかし、そのためには、「今日も頑張っておいで」「行ってらっしゃい」と気持ちよく送り出してくれたり、「へえ、そんないいことがあったの」「よく頑張ったね」と笑顔で聞いてくれたりほめてくれたりする家庭の存在が大切です。

子どもたちの健やかな成長のために、「学校に行くのが楽しい」「家に帰るのが楽しみ」と思えるような学校や家庭を共に築いていきましょう。